

工事現場での硫化水素対策をお願いします!!

硫化水素は、**有毒**な気体ですが、広島市内の一部の地域（宇品地区や庚午地区など）には、硫化水素が溶け込んだ地下水が流れています。

このため、掘削工事により地下水を放流すると、**腐卵臭**や**温泉臭**といった硫化水素による不快臭が発生し、**苦情**の原因にもなります。

地下水に含まれる硫化水素の薬剤処理等

ノッチタンクに薬剤（次亜塩素酸ソーダ、ポリ鉄等）を注入

- ✓ 薬剤の注入量は、薬品業者等に相談してください。（薬剤は強酸強アルカリのものがมีるので、取扱いに注意してください。）
- ✓ ノッチタンクに注入した薬剤は、十分攪拌してください。
- ✓ 薬剤タンクは、注入量に見合った大きさのものを使用し、薬剤が切れないよう適宜補充してください。
- ✓ 反応時間をできるだけ長くするため、薬剤は、タンクの入口に近い場所で注入してください。
- ✓ ノッチタンクはビニールシート等で覆った後ロープで固く縛るなどして、できるだけ臭いが漏れないようにしてください。また、掘削箇所などもビニールシート等で覆ってください。



揚水用井戸に固形薬剤（次亜塩素酸カルシウム）を直接投入することも効果的です。

排水（工事に伴って湧出する地下水を含む。）は污水管に排除してください。

注意

ノッチタンクなど、硫化水素濃度が高い場所では、危険ですので直接臭いを嗅がないでください。また、硫化水素は、低い濃度でも臭覚を麻痺させる作用がありますので現場で作業される方も注意が必要です。

下水管からの臭気対策

- 1 雨水側溝と下水管が繋がっている合流地区では、下水管内の硫化水素が雨水側溝を通じて地上へ上がることがあります。その場合は、雨水側溝に防臭器具（防臭逆止弁、防臭リング等）を設置してください。
- 2 マンホールの蓋の穴から硫化水素が上がってくる場合は、ガムテープ等で目張りをしてください。

※ 防臭器具の設置やマンホールの蓋の穴に目張りをする場合は、事前に各区維持管理課と設置場所や方法を協議してください。



注意

硫化水素は、水に溶けやすい一方、水に溶けている硫化水素は衝撃を受けると気化しやすい性質をもっています。最終枡等で臭気が無くても、下流の下水管の落差がある場所で臭気が発生する事があります。

このチラシに関する問合せ：広島市下水道局管理課水質管理係

電話：082-241-8250